

藤原歌劇団公演

総監督／折江忠道

General Artistic Director : Tadamichi ORIE

フィガロの結婚

モーツァルト作曲
オペラ全4幕
(字幕付き原語(イタリア語)上演)

W.A.Mozart : LE NOZZE DI FIGARO
Opera in 4 acts in Original Language

指揮 ————— 鈴木恵里奈 Erina SUZUKI

演出 ————— マルコ・ガンディーニ Marco GANDINI



恋する男女がくりひろげる
「狂おしき一日」が始まる

アルマヴィーヴァ伯爵
Il Conte di Almaviva
伯爵夫人
La Contessa di Almaviva
フィガロ
Figaro
スザンナ
Susanna
ケルビーノ
Cherubino
マルチェリーナ
Marcellina
バルトロ
Bartolo
バジリオ
Basilio
ドン・クルツィオ
Don Curzio
バルバリーナ
Barbarina
アントーニオ
Antonio
農民の娘
Contadinelle

1/8
須藤 慎吾
Shingo SUDO
西本 真子
Mako NISHIMOTO
谷 友博
Tomohiro TANI
中井 奈穂
Nao NAKAI
向野 由美子
Yumiko KONO
牧野 真由美
Mayumi MAKINO
東原 貞彦
Sadahiko HIGASHIHARA
持木 弘
Hiroshi MOCHIKI
松浦 健
Ken MATSUURA
芝野 遥香
Michika SHIBANO
安東 玄人
Gento ANDO
中桐 かなえ／丸尾 有香
Kanae NAKAGIRI / Yuka MARUO

1/9
井出 壮志朗
Soshiro IDE
迫田 美帆
Miho SAKODA
小野寺 光
Hikaru ONODERA
横前 奈緒
Nao YOKOMAE
丹呉 由利子
Yuriko TANGO
松原 広美
Hiromi MATSUBARA
相沢 創
Hajime AIZAWA
角田 和弘
Kazuhiro TSUNODA
三浦 大喜
Taiki MIURA
網永 悠里
Yuri AMINAGA
杉尾 真吾
Shingo SUGIO

合唱：藤原歌劇団合唱部 Fujiwara Opera Chorus Group

管弦楽：テアトロ・ジューリオ・ショウワ・オーケストラ Teatro del Giglio Showa Orchestra

2021.
1/8 (金)・9 (土) 14:00開演 テアトロ・ジューリオ・ショウワ
(小田急線新百合ヶ丘駅南口より徒歩4分)

[開場 13:00] 上演時間：約3時間15分 *各日とも13:15から作品解説をいたします。

2020年8月31日(月)10:00より発売開始!!

S ¥12,800 A ¥9,800 B ¥6,800 C ¥3,000 [税込]

◆ヤング・フレッシュマンチケット：A席・B席は半額(25歳以下/枚数限定) ◆障がい者割引：S席・A席・B席は20%割引(要お問合せ/枚数限定)
*特別割引につきましては、日本オペラ振興会チケットセンターのみで取り扱い。詳細はお問い合わせください。

●お問い合わせ・予約：日本オペラ振興会チケットセンター 03-6721-0874 (平日10:00~18:00) <https://www.jof.or.jp>

●チケット販売所：チケットぴあ <http://t.pia.jp> 0570-02-9999 (Pコード：186-314)

(窓口) 昭和音楽大学南校舎内チケットセンター 平日10:00~18:00 (12:00~13:00及び土・日・祝日を除く)

(教育施設での販売のためご来校の場合は感染防止対策にご協力お願いします)

主催：公益財団法人日本オペラ振興会

助成：公益財団法人三菱UFJ信託芸術文化財団/公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション



音楽のまちかわさき しんゆり・芸術のまち

後援：「音楽のまち・かわさき」推進協議会
NPO法人しんゆり・芸術のまちづくり

フィガロの結婚

W.A. Mozart : LE NOZZE DI FIGARO
Opera in 4 acts in Original Language



封建と自由のはざままで 恋人たちは時代の変革期をどう生きたのか

熱く恋を語った恋人たちも今や中年の倦怠期

あちこち目移りをする伯爵を、どうやって伯爵夫人は懲らしめるのか

藤原歌劇団が2021年の初めにお送りするのは、モーツァルトの不朽の名作「フィガロの結婚」。イタリアの一流の歌手たちがこのオペラを〈声の薬〉と呼ぶのは、この作品の登場人物たちには、端役に至るまでコントロールの効いたテクニックのある歌手が揃ってこそ聴き応えのあるオペラとなり得るといふ、この作品の難しさの裏返しでもあります。封建社会を体現するようなアルマヴィーヴァ伯爵を2月の「リゴレット」でその実力を見せつけた須藤慎吾(1/8)と新鋭の井出 壮志朗(1/9)が演じます。「セビリヤの理髪師」の天衣無縫な娘ロジーナは、今や落ち着いた美しい伯爵夫人となっています。今回はその役を18年の「ナヴァラの娘」の主役で藤原歌劇団デビューを飾った西本真子(1/8)と、19年にこちらも「蝶々夫人」に主演して藤原デビューを飾り、バルカントオペラフェスティバル イン ジャパンの「貞節の勝利」でもズボン役の主役を務めた迫田美帆(1/9)、スザンナには二人の若手、中井奈穂(1/8)と横前奈緒(1/9)、ケルビーノに向野由美子(1/8)と丹呉由利子(1/9)。そして「セビリヤ」では伯爵とロジーナの恋のキューピッド役を果たしたというのに、なんとスザンナとの結婚を彼に邪魔される羽目に陥るタイトルロールのフィガロは、前回の公演では伯爵を演じた谷友博(1/8)と、めきめきと頭角を現しつつある若手の小野寺光(1/9)が演じます。またヴェテランの持木弘、角田和弘、松浦健らが、脇を固めるのも嬉しいところです。指揮は藤原歌劇団がその才能を見出し活躍しはじめている鈴木恵里奈、テアトロ・ジューリオ・ショウワ・オーケストラがピットに入ります。

STORY

「セビリヤの理髪師」では「町の何でも屋」を自称して、ロジーナとアルマヴィーヴァ伯爵を見事に結びつけたフィガロは、今や従僕として伯爵に仕えている。大恋愛の末に結ばれたロジーナと伯爵も今や立派な倦怠期の中年夫婦。伯爵の派手な女性関係に夫人は悩んでいるが、果てはフィガロの婚約者で自分の小間使いのスザンナにまで伯爵が封建主義時代の「初夜権」を持ち出すに至っていると知り、さすがの彼女もショックを隠せない。昔の彼女を彷彿とさせる機知に富んだスザンナは夫人とともに、伯爵の浮気癖を懲らしめる作戦を立てる。昔のような冴えた作戦がなかなか思い浮かばず、苦戦するフィガロ。「セビリヤ」ではロジーナの後見人だったバルト、揉み手をしながら伯爵の機嫌を取る音楽教師のバジリオなど男たちは、封建社会のヒエラルキーからどうしても抜け出せない。そんな彼らの妨害をひらりひらりとかわしつつ、スザンナと伯爵夫人、そして最後にはマルチェリーナも加わっての女性陣による、いわば「男たちへの反撃」は着々と計画されていく。

● スタッフ

合唱指揮：須藤桂司
美術：イタロ・グラッシ
衣裳：アンナ・ピアジョッティ
照明：奥畑康夫
振付：伊藤範子
舞台監督：斎藤美穂
副指揮：大森大輝
演出助手：堀岡佐知子



(2012年公演より)

▼HPはこちら



▼SNS公式アカウント



鈴木 恵里奈



マルコ・ガンディーニ



須藤 慎吾



井出 壮志朗



西本 真子



迫田 美帆



谷 友博



小野 寺 光



© Virginio Levrio
中井 奈穂



横前 奈緒



向野 由美子



© Yoshinobu Fukaya
丹呉 由利子



牧野 真由美



© Studio Zahora
松原 広美



東原 貞彦



相沢 創



持木 弘



角田 和弘



松浦 健



三浦 大喜



芝野 遥香



網永 悠里



安東 玄人



© Yoshinobu Fukaya
杉尾 真吾



中桐 かなえ



丸尾 有香

NPO 法人日本音楽生涯学習振興協会は、藤原歌劇団・日本オペラ協会の本公演を応援しています！

日音協会では、地域住民のための生涯学習『童謡コーラス』『みんなの音楽会』の2つの支援事業を推進しています

TV 『みんなの音楽会テレビ』 毎週日曜朝(テレビ神奈川 10時00分/テレビ埼玉 10時15分)好評放送中!
— レギュラーコーナー「みんなのオペラ」では、日本オペラ振興会の公演や歌手をご紹介します。—